

京セラドームを見て



夏の「甲子園」初戦のプレーボールと同時に

私の「8月盆檀家さん参り」も始まります。だからこのイライラの繁忙期、テレビでそれを見ることもありませんし、そもそもスポーツ観戦が好きでないスポーツ音痴の私です。

今年も3日から大阪市内を一日電車で移動し、お参りが始まりました。関西最後の檀家さんが西宮です。環状線で天王寺駅から大阪駅に向かっている途中、車窓から沿線に隣接する「京セラドーム」が見えます。既に今年の異常的な酷暑で高校野球地方大会においてスタンドで応援している多くの生徒等が熱中症で病院へ搬送されるニュースを見ました。この暑さは西日本では更に続くと思われていますし、近年毎年のように危険な暑い夏が続いています。それなのに、なぜ炎天下で試合をしなければならない「甲子園球場」なのでしょう。スポーツ音痴の私には理解できません。開催地を北海道にするとか、関西圏開催にこだわるのであれば、今見えている「京セラドーム」ならば冷房が効き快適な環境でプレーや応援ができるでしょう。この夏、小学1年の児童をはじめ暑さで命を落としている人のことを踏まえるとお金には代えられないと思うのですが。高校野球開催中の場内では「生ビール」が販売されています。教育理念を掲げる高野連にしては「寛大」な運営です。開催地に関してもこのよ

うな対応ができないものでしょうか。

その点を調べてみますと、高野連は約15日分の甲子園球場の使用料(グラウンド整備費は別)を昭和21年以来払っていないそうです。運営経費で一番の支出である球場使用料がタダなのです。その反面、全試合を放送しているNHKなどが高野連に支払う放映権料は受けとっていないそうです。その辺のカラクリが、昭和21年以来わずか6名しか代わっていない高野連の爺様方(歴代会長)に不信を抱かされます。この方々、批判をうけながらも未だ女子部員の試合参加を認めようとしない「化石」です。

更にこちらもタダを良いことに、春夏一日中高校野球をテレビとラヂオで放送しているNHKもおかしいと思います。これが民放局であれば会社の方針でそうあっても全くかまいません。国民の受信料で運営されているNHKはそれをしてはいけません。真面目にお支払している人の中で、これほど高校野球を見たい人はどれくらい存在することでしょう。春夏全試合を単純にトータルすれば、1年間の内、約1ヵ月間弱の日中の時間においてそれが放送されていることとなります。国技の「大相撲」と比べても異常としか言いようがありません。春の大会はNHK局内の人事異動による多忙の為、夏の大会は局内職員のサマーバカンスの為にタダを良いことに純粋な高校球児たちが利用されているような気がしてなりません。またラヂオにおいても、高校野球放送時間を減らして、子供たちのためにも『夏休み科学子供相談』の時間枠を増やしてほしいと思います。俊徳丸